

北浦2区 ミニデイ イクラブ



新ミニデイ団体誕生!

北浦2区ミニデイイクラブは、北浦2区(旧中山地区)を対象に、ほぼ月1回水曜日(第2以外)地域の集いとして活動しています。立ち上がりは平成30年7月で、町内では2年ぶりのミニデイ団体誕生となります。

もしものために日頃から

きっかけは、主に高齢者や一人暮らしの方が閉じこもってしまつて健康を損ねたり、災害時に誰がいるかわからなかったりすることを防ぐため、ご近所同士のつながりを強めようと区長の平田さんが動いたことからでした。



男性陣は進行役で 引っ張ります!

新1年生の様子は...



記念すべき第1回目の折り紙は...



最初が肝心、 これからも肝心

毎回17名程度の参加者がありますが、お世話役の平田さん、中村さんは皆が楽しんでくれていることでやりがいを感じている様子でした。今後は、防犯、防災、介護予防の話や、カラオケなども取り入れたいとの話もお聞きしています。

北浦2区ミニデイイクラブの皆さんが、どんなことを取り入れていくのか目が離せませんね。

参加者の皆さんからは、「おしゃべりの機会はあるけど、外にあまり出んきこういうのは楽しい」「ちょっと難しいけど簡単な遊びをするのが楽しい」「家では一人やきありがたい」というような感想を聞くことができました。



●お問い合わせ

いの町社会福祉協議会
あつたかふれあいセンター
生活支援コーディネーター
☎ 088-893-5920



こうなりました!
皆さんきれいにできました。



本川 越裏門・寺川地区

集落活動センター「氷室の里」は、町の北部、高知県と愛媛県の県境の山間に位置する越裏門・寺川地区にあります。人口75人、高齢化率は80%を超えており、県内でも特に過疎・高齢化が進んだ地域です。「氷室の里」はこの2地区で形成されており、高齢化は顕著なもの、小規模でまとまりがあり「氷室まつり」や「敬老会」など地域の交流や、住民相互の支え合いにより集落が維持されています。

きっかけはUFOライン!!



「氷室の里」の開設までには、S63年に立ち上げた「越裏門・寺川地区村おこし協議会」が主となり、地区での活動をしてきたそうです。協議会はH2年にUFOライン（町道瓶ヶ森線）が開通することにより、地区への人通りが無くなるなどの危機感もあり、「何かしないと!」との思いから立ち上がったそうです。

本川の豊かな自然を 活かして

越裏門・寺川の自然豊かな地域で力を入れている取り組みが、きのこの生産販売です。この地域の山では「まいたけ」のことを「まいなば」と呼んで親しまれており、また天然のまいたけが地元で食べられていたこともあり、原木まいたけを中心に生産販売に取り組んでいます。

きのこの栽培は、自然相手のため、安定的な生産量の確保や増産が計画どおりに進めなかったり、今後の販路開拓、加工品の開発などでもこれから検討していく部分が多いといえます。



結束力!

集落活動センターでの支え合いや経済活動を通じて住民のネットワークは少しずつ広がりをみせています。代表の岡林さんは、「この地区のいいところは、結束力がある、何かするとなれば、40代〜80代のメンバーが集まり、皆が協力的。今後はさらにこのネットワークを強化するとともに、将来に対する不安を少しでも解消し、集落が持続する体制を作ることが必要と感じています。また、集落活動センターとして拠点を整備し、地区出身者や外部へ開かれた活動で交流促進を図り、きのこ栽培など特色ある経済活動を通して担い手を確保していくことが急務と感じています」と今後の展望をお話くださいました。



集落支援員
江田 初代 さん

代表
岡林 弘 さん



お問い合わせ

吾北あったかふれあいセンターこころ
(生活支援コーディネーター)
☎ 088-867-2755
集落活動センター「氷室の里」
☎ 088-869-2771

